# 青葉山エリアの特性・強み

資料６－１

## ■豊かな自然と歴史的遺産が残る特別なエリア

都心からほど近くにありながら、天然記念物青葉山、広瀬川など豊かな自然が広がるほか、史跡仙台城跡など歴史的遺産を有する。青葉山公園、西公園の整備により、憩いと安らぎの空間の一層の充実を図る。

（主な資源）　天然記念物青葉山、東北大学植物園、広瀬川、仙台城跡、瑞鳳殿、青葉山公園、西公園

（進行中の事業）　史跡仙台城跡整備、青葉山公園整備、西公園再整備

## ■文化芸術施設、教育・研究施設が集積する文教エリア

仙台市博物館、宮城県美術館をはじめとした文化施設、大学、高等学校等の教育施設が立地。国際センター駅北側には、文化芸術・災害文化の拠点として音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の整備を進め、文教エリアとしての充実を図る。

（主な資源）　仙台市博物館、宮城県美術館、東北大学、東北大学川内萩ホール、宮城教育大学

（進行中の事業）　音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設整備

## ■アクセスに優れた立地

エリア内は地下鉄沿線であるほか、るーぷる仙台が周遊しており、都心からのアクセスが至便。
また、エリア内にDATE BIKEポートが複数あり、国際センター駅を起点とした移動などにも便利。

（主な資源）
地下鉄東西線、観光シティループバス「るーぷる仙台」、仙台コミュニティサイクルDATE BIKE

## ■仙台城跡、瑞鳳殿等から成る本市の主要観光地

史跡仙台城跡をはじめ、瑞鳳殿、仙台市博物館等が立地する本市の主要観光地の一つ。新たな複合施設の整備、エリア内施設の連携による新たな取組みにより一層の交流人口の拡大が期待される。

（主な資源）
仙台城跡、瑞鳳殿、仙台市博物館、宮城県美術館

## ■「学都・仙台」と、先端技術の創造・発信の重要拠点

東北大学、宮城教育大学が立地し、高度な研究が行われていることに加え、次世代放射光施設（ナノテラス）の稼働により、新たなイノベーションの創出と地域経済への波及効果が期待される。

（主な資源）　東北大学、宮城教育大学、次世代放射光施設（ナノテラス）

（進行中の事業）　東北大学サイエンスパーク、次世代放射光施設（ナノテラス）周辺のリサーチコンプレックスの形成推進

## ■東北大学、仙台国際センターを中心とするＭＩＣＥ拠点

東北大学、仙台国際センターを核として、グローバルＭＩＣＥ都市である本市のコンベンション開催拠点となっている。大規模学会等の開催時は、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設との連携・協力を図るほか、青葉山公園（仙臺緑彩館）等のエリア内資源の活用などにより、ＭＩＣＥ機能の強化を図る。

（主な資源）　仙台国際センター、東北大学川内萩ホール

（写真提供）宮城県美術館：宮城県観光プロモーション推進室、瑞鳳殿：（公財）瑞鳳殿、東北大学総合学術博物館・植物園・川内萩ホール：東北大学、次世代放射光施設：（一財）光科学イノベーションセンター